

加東の91歳・篠倉さん

「オセロ」 手作り



「オセロ」風ゲームセットを作る篠倉克己さん＝加東市北野

活用希望施設募る

石はキャップ、盤は段ボール

篠倉さんは大手重機メーカに入居した。孫10人、ひ孫14人がおり、子どもから高齢者まで気軽に楽しめるものをつくり、自宅の増築から室内の小物作りまで手掛けてきた。

2年前に妻が他界し、1年余り前に今の住宅に

「石」を作るため、家に

集めてもらった。湿らせ石を進めて相手の石を取った新聞紙とセメントを混ぜたものを内側に詰め、色紙を貼って完成。ゲイム盤は33センチ四方に切った段ボール紙を3枚重ねて縁にテープを貼り、油性ペンで線を引き、64の升目を描いた。ひ孫らに与えたところ、カラフルな石に夢中になった。遊び方も「オセロ」風ゲームのほか、サイコロの出た目の分、

希望する施設は市高齢

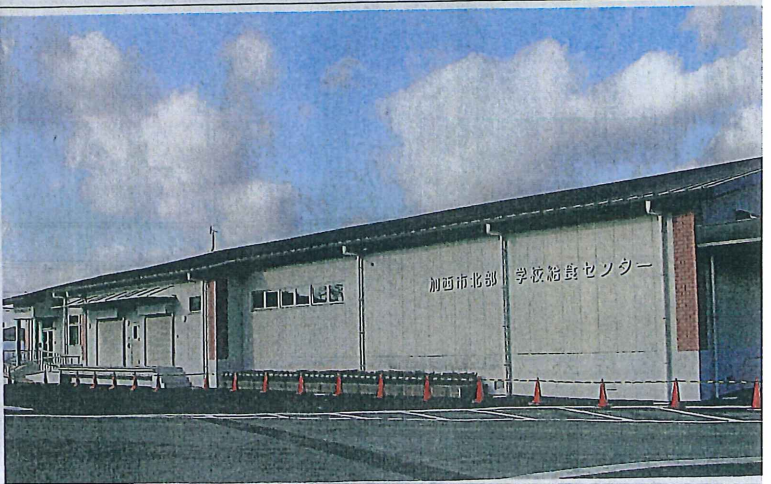
西 北部学校給食センター完成

加 15日竣工式、見学会

加西市が北条中学校(北条町北条)の敷内に建設していた「北部学校給食センター」が完成した。15日に竣工式と見学会があり、来年1月14日から給食を実施している。鉄骨平屋約900平方メートル。大型のガス回転釜6基を備えた調理室をはじめ、計量室やえ物室などを備え、アレルギー調理室もある。給食を実施していない3中学校(北条、

善防、泉)に加え、4小学校(富田、賀茂、下里、西在田)、加西特別支援学校、西在田幼稚園に、1日当たり最大計2千食を提供する。これにより、市内全中学校での給食が実現する。全中学校での給食は、西村和平市長

が2011年の市庁で公約に掲げていた。現在、市内には、設の給食センター(宮木町)のほか、学校などが単独調理を持つが、市は将来2センター方式とし、配食方法に統合する針。(河尻 恒)



被災地園児へプレゼント

小野工など県内6校家庭科生徒ら

宮城・亘理町へ「心込め作った」

農組合育てた米使用
1000本限定
月の祝い酒に」

畑町で減農薬栽培した田錦を使った純米酒が出来上がった。米作元の畑第三営農組合が千本限定。毎年2週完売する人気ぶりだ。だけでも自分たちが栽培の純米酒で乾杯した99年から取り組み、15市三口町の蔵元、富久が完成した。15日に竣工式と見学会があった3中学校(北条、同営農組合が育てた1.5トンを使用。夏から初めて暑い日が続く、水の労が多かったという。組合長は「まるやかで口の良い味わいに仕上がったの祝い酒にしてもらえ話す。1500円(2本入りの贈200円)、1.83千円。0790・42・1139 (河尻 悟)



ご利用頂く皆様へ

緑陽館 工芸部

この度は当作品をご利用頂きありがとうございます。

この作品は緑陽館工芸部として作成者篠倉克己御年91歳が考案・作成し、部員富田が社会福祉協議会様のご協力を頂き皆様と巡り合う事が出来ました。皆様にお届けさせていただいた作品は「すごろく風取れトレゲーム」というゲームです。このゲームは作成者篠倉が考案したゲームで、オセロの様な駒とボード・サイコロを使い、駒を取り合うゲームです。新種のゲームで、解りやすい内容になっておりますので、小さなお子様からご高齢の方まで幅広い方に楽しんで頂ける内容となっております。ゲーム内容は別紙参照。作品材料といたしましてペットボトルのキャップや紙粘土・新聞紙・ダンボールなどを使用し手がけたものです。

この作品を少しでも多くの方にお届けし、たくさんの方にご利用頂き、楽しんで頂きたいと思っております。また、この作品作りを少しでも多くの方に作り方などの技術を伝えていきたいという想いもございます。

作品を追加してほしい方や作品作りを希望される方など何かご質問等ございましたら遠慮なく緑陽館工芸部富田が窓口となって対応させていただきますのでよろしくお願い致します。また、緑陽館ホームページにものせていますので是非ご覧ください。

<連絡先>

住所 〒 679-0205 加東市北野55-2

サービス付き高齢者向け住宅 緑陽館

TEL 0795-45-9070

工芸部担当 富田 憲一

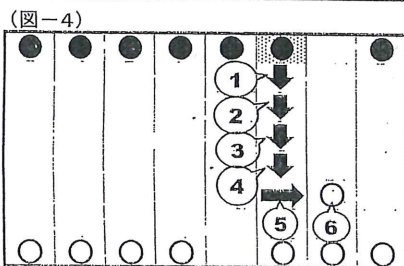
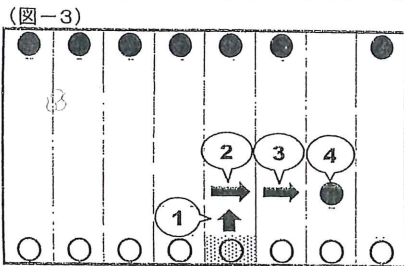
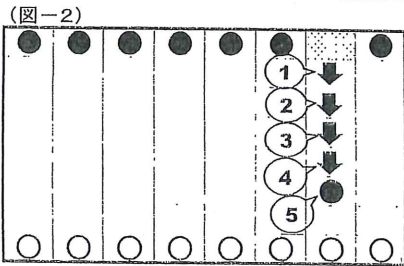
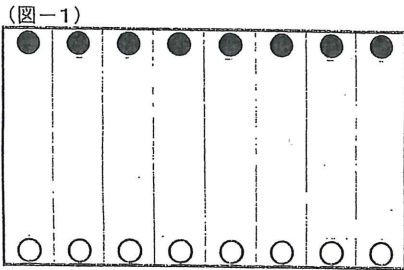
[ゲームの作り方]

- ① 見本のA3用紙を適当にコピーして下さい。
- ② サイズ(30cm×35cm)のダンボールを用意して下さい。
- ③ 段ボールは1枚でもよいが、2～3枚重ね合わせる。
- ④ ガムテープ等でA3の用紙と段ボールをくっつけて完成。

*自分で作った道具で遊ぶと楽しさは倍増です。たくさん作ってあげましょう。駒の欲しい時は色々なキャップを集めてそのまま使うと良いでしょう。きっと小さな子供の宝物になりますよ。

すごろく風取れトレゲーム

双六風取れトレゲーム



[ルール説明]

サイコロの出た目数だけタテ・ヨコ方向に進める。
 進んでいる途中で曲がっても良い。
 相手の駒にちょうど重なれば相手の駒を取れる。

[遊び方]

- ① 黒と白をそれぞれ一番端に8個ずつ並べる。
 (図-1)
- ② 黒の駒の方がサイコロを振り、出た目が「5」の場合、黒い駒のうちどれかひとつを「5」移動させる。(図-2)
- ③ 次に白の駒の方がサイコロを振り、出た目が「4」の場合、黒の駒をとるために、白の駒を「4」移動させる。
- ④ 白の駒が黒の駒の上にちょうど重なり、黒の駒をとる事が出来る。
- ⑤ 次に再び黒の駒の方がサイコロを振り、出た目が「6」の場合、白の駒をとる為に、黒の駒を「6」に移動させる。(図-4)
- ⑥ 黒の駒が白い駒の上にちょうど重なり、白の駒をとる事が出来る。
- ⑦ サイコロを振りながら交互に繰り返していき、相手の駒を先に全部とった方が勝ち。

寄贈 緑陽館 制作指導者 篠倉 克己

工芸部員 富田 憲一